

3年次理科でトウモロコシの粒を数えていました。

7月17日(火) 2限, 3年次(中3)で大村先生が**楽しいAL授業**を実施すると聞いたので, ちょっと見学に行きました。すると, 生徒たちがペアになって, 一心不乱に生の**トウモロコシの粒**を数えていました。黄色が何粒, 白色が何粒かを数えていたのです。そうです! 「**遺伝**」の勉強です。

それぞれのチームがカウントした数を報告し, クラスでの総数が「黄色3055:白色1064」つまり「**2.9:1**」になった時, **大歓声**が上がりました。私は, これも**感性**を磨く「**AAL**(アート・アクティブ・ラーニング)」だと思いました。実際の遺伝の様子を, **一人一人が手で触って数えて実感する**。楽しい授業ですね(^ ^)。大村先生は, このような活動を「**アクティビティー**」と呼んでいました。「**実験・観察**」と似ていますが, より自ら考えて体験する活動のようです。まさに理科の「**アクティブ・ラーニング**」の一つの理想型だと思います。

ところで, 下のトウモロコシの写真をよく見てください。現在, スーパーで売られているトウモロコシは, ほとんどの粒が黄色です(その方が売れるからでしょう)。今回使用したトウモロコシは, 講師の高須先生(前期理科担当)が, 自宅の農園で, 今日の日のために**種から育ててくれた品種**なのです。先生方の「**教育に対する情熱**」を感じます。

本校は, **SSH**(スーパーサイエンスハイスクール)指定校と言うことで, 理科の学習に関する環境が整っていると思います。そして, 素晴らしい先生方がいるので, 毎時間, **ワクワク**するような授業が展開されています。今日の授業も, 見ていてワクワクしました。さらに, 今日は, 本校の**小神野事務長さん**も, 授業を見学に来てくれていました。「授業を見ていて, とても楽しかったです!」と, お話されていました。

